



2022年  
幼保連携型認定こども園  
神戸女子大学附属高倉台幼稚園  
園長 木村 奈帆子

過ごしやすい気候になりました。うれしい実りの秋、読書・芸術・スポーツの秋！休みの日にはコロナに感染しないよう十分に注意を払いながらも、家族で戸外に出て秋の風を受け、追いかっこやボール遊び等をして体を動かす心地よさを感じてください。

もうすぐ子ども達が楽しみにしている運動会があります。今年度は全学年が参加して50周年記念式典を行います。子ども達は当日を楽しみに、応援し合いながら遊び込んでいます。体育文化ホールだけではなく、園庭や遊戯室で、パラバルーンやかけっこ、体操などに意欲を高めています。どの学年の子ども達も、汗をかきながらも思い切り体を動かして遊ぶ楽しさを感じているようです。その中でも年長児はルールを決め、ルールを守って競争する楽しさを感じるとともに、自分なりの目標をもって竹馬の練習に励んでいます。小学校入学までの間に、様々な経験をする中、新しいことに挑戦し、達成するワクワク感を、十分に感じてほしいと思います。

また、3～5歳児が縦割り(各学年が混じって活動)で壁面を飾るケーキを作りました。年長児が中心になって「50本もろうそくいるで」などと話しながら協力して作っていました。運動会当日、ホールに飾りますのでご覧ください。

### 運動会、力いっぱいがんばろう！

☆友達と一緒に、力いっぱい体を動かして遊ぶ心地よさや楽しさを味わう。

- ・友達と一緒にルールを守って遊ぶ楽しさを感じる。
- ・競い合ったり、応援したりする中で、友達と力を合わせる充実感を味わう。

運動会では、子ども達が園で伸び伸びと表現する姿や、集団の中で思い切り走ったり、友達と力を合わせて遊んだりする成長した姿を見ていただきたいと思います。ただ、たくさんの保護者の方に囲まれて、緊張したり、保護者の方に甘えたりする子どももいるかもしれませんが、次の年には間違いなく子どもは成長します。それを楽しみに、子ども達の今の姿を大らかに受け止めていただきたいと思います。そして、それぞれの頑張りをいっぱいほめてください。ほめてもらった喜びが大きな達成感となり、自信につながります。

さあ、当日まで、子ども達の頑張りを励まし、支えていただきますようお願いいたします。また、朝夕の涼しさと昼間の気温の変化に、体調をくずさないようにしましょう。当日しっかりと持てる力が出せるように、十分に栄養をとって免疫力を高め、「早く寝る」などの健康管理をお願いいたします。

### 秋の収穫を喜び、自然にふれて遊ぼう！

☆身近な秋の自然に触れ、遊びに取り入れようとする。

- ・秋の自然に親しみ、遊びの中で形や大きさ、数、量などに気付き、興味をもつ。

### 【10月の生活習慣】



- 手洗い、うがいをしっかりしましょう。
- しっかり水分補給をしましょう。
- テレビやゲームは時間を決めて、離れて見ましょう。

最近、手に**ドングリ**や**色付いた葉っぱ**を握って登園する子どもが増えました。子どもなりに秋を感じているのでしょう。子ども達の大好きな**ドングリ**には色々な種類があります。近くの公園にはどんな種類のドングリが落ちているのでしょうか。また、ジャンプの得意なバツタがいるかもしれません。いろんな秋が見付かると楽しいですね。

また、夏と違って公園などから早く帰宅されることでしょうか。秋の夜長、じっくりと親子で絵本を読むのもいいですね。**絵本を通して色や言葉の美しさを味わい、登場人物の気持ちを感じてほしい**と思います。

## バス通園についてのお知らせ

- 〇バスに乗る子ども達のチェックを確実にするために、この度、チェック体制を見直しました。
- これまで通り担任は毎朝アプリの確認を行って、各クラスのチェック表に記入し、職員室の職員が再度確認してバスの乗車表に記入します。7:30以降の変更は、必ず園にお電話ください。
  - お仕事の都合や課外体育参加等の理由により、登園時とは違うバスで降園する場合は、申し訳ありませんが、乗り間違いのないように、通常とは違うバスバッジをご購入(1個100円)いただき、降園時に乗るバスのバッジを付けて登園していただきたいと思います。

## 今年度の努力目標



子ども達は、登園時やバスを降りたとき、自分からしっかり声を出して挨拶をするようになってきました。子ども達の元気な声を聞くと、とっても気持ちがいいですね。

今年度は昨年度の目標にあった「返事」を「挨拶」に変えました。一日を通して、様々な場面で話している人の目を見て、心で話を聴いてほしいと思えます。お家でも、子ども達に分かる言葉で、心で聴きたくなる話し方で、会話を楽しんでください。

2学期になり、どんどん挑戦する気持ちが強くなっています。失敗を恐れず、やってみる楽しさを感じてほしいと思えます。小さな怪我や失敗も、小さいうちにいっぱい経験できるといいですね。また、一日の生活の中でどれだけ子どもが自分で考えたり、選んだりして実行できる機会があるでしょうか。自分で考えて、自分で決めて、できるまで努力する子どもになってほしいものです。

今後もこの目標に向かってご家庭と一緒に進んでいきたいと思えます。「ありがとう」や「ただいま」などの挨拶ができれば、満面の笑みで、園で頑張っている子ども達に応援と支え、認めをしっかりとお願いいたします。